



さらなる交流へ

舞鶴市、ウズベキスタン共和国と親交を深めてきた皆さんに、姉妹都市提携を受けたこれからの交流を伺いました。

新しい扉を開くきっかけに



箏演奏家
立道 明美さん

私は平成 28 年に東京で箏の演奏をしたことをきっかけに、ウズベキスタンとの交流を深めてきました。これまでに招待を受けて現地の音楽祭へ 4 回参加したほか、同国の独立記念式典でも演奏を行いました。現地の若者たちは一生懸命で、サービス精神にあふれていて、日本とは違ったパワーをもらっています。

今回の提携は、市民の皆さんがそんな同国に関心を持つきっかけになるはずです。異文化に触れることは視野を広げ、新しい扉を開いてくれます。これまでも、現地で箏の授業を行ったり、箏を寄贈したりするなど交流を重ねてきましたが、今後もこうした活動を通じて日本の文化を伝えていきたいと思っています。



ウズベキスタンの魅力を伝えたい

日本の美しい景色にひかれたことをきっかけに、日本に興味を持ち「Noriko 学級」で 2 年間日本語を学びました。校長先生の勧めもあり、生産技術を学ぶため留学を決意。来日後はさまざまな地域行事に参加し、同世代の日本人と交流を深めてきました。そのため、舞鶴市とリシタン地区が姉妹都市を提携したことは、日本との距離がさらに縮まったようで非常にうれしかったです。



卒業後は学んだ技術を生かして舞鶴で就職し、今後も、ウズベキスタンの魅力を伝える活動を続けたいです。



京都職業能力開発短期大学校 2 年
イスマトライフ・ムハマディオルさん

草の根の交流を



聖母の小さな学校
代表 梅澤 秀明さん (左)
副代表 梅澤 良子さん (右)

フリースクール「聖母の小さな学校」では、月 2 回、ウズベキスタンの文化や言語の授業があるほか、料理教室や留学生を招いた行事など、4 年間にわたり交流を続けてきました。今回の提携を機に、ウズベキスタンを知らなかった市民の皆さんが関心を持つ出発点になることを期待しています。

私たちは、今年 9 月にウズベキスタンを訪問し、Noriko 学級の生徒たちをはじめ若い世代との交流を予定しています。日本語での交流や文化の紹介、両国の歴史を踏まえた平和学習など、双方向の交流ができればと思います。草の根の部分で人と人とのつながりを太くし、今後、訪問や受け入れなどの交流につなげていきたいです。



祖父から受け継いだ絆を未来へ

創設者である祖父スルタノフ・ジャリル（右写真の右）がもいた友情の種が、舞鶴市とリシタン地区の姉妹都市提携という形で実を結んだことを幸せに思います。これは長年にわたり育んできた深い友情、敬意、相互理解があったからこそ実現したものです。姉妹都市の提携はゴールではなく新たな協力の始まりです。今後は、青少年交流を発展させ、若い世代が互いの歴史や文化を深く理解し合えるようにすることが重要です。そして日本人抑留者についての記憶だけでなく、共通の歴史から生まれた友情や平和への願いを未来へ語り継いでいきます。



これからも祖父が築いた絆を大切に守り、舞鶴市との連携をさらに強めて、ウズベキスタンと日本の友好発展に貢献していきます。



日本人抑留者資料館 館長
ジャリロフ・リソラットさん (左)

子ども達の可能性を広げる



Noriko 学級 講師
中村 悠亮さん

今回の姉妹都市提携は、Noriko 学級の子ども達が世界とつながり、将来の可能性を広げる重要な機会です。この交流を通じて異なる文化や価値観に触れて視野を広げ、将来の進路や生き方を考えるきっかけになることを期待しています。また、若者を通じて、地域の国際理解を深め、多様な視点を取り入れることで、舞鶴市のさらなる発展につながるものと信じています。

今年 1 月に Noriko 学級へ赴任し、日本語だけでなく、ウズベキスタンの若者が将来日本で安心して生活できるよう、日本の生活習慣や日本人の考え方を伝えています。そしてここで学んだ彼らには、自らの経験を生かしながら両地域をつなぐ存在になってほしいと願っています。



舞鶴引揚記念館・学生語り部による絆を結ぶ交流

8 月 1 日～7 日、学生語り部 6 人が日本人抑留の地であるウズベキスタン共和国などを訪問します。次世代による平和交流を目的に、現地で直接抑留の史実を学び、同世代の若者と交流します。

訪問に向けて同国の成り立ちのほか、食、文化、言語について事前学習を重ねてきました。出発前の学生語り部に訪問にかかる思いを聞きました。



五感で感じ取って伝えたい



今回、抑留の歴史が刻まれた場所を訪れるので、現地では当時の様子や思いを五感で感じ取りたいと思っています。そして訪問で吸収したことを、今後の語り部の活動に生かしていきます。

また、現地の同世代の人と出会う際は、お互いの思いを伝え合い、共に学び合えるような交流をしたいです。そして、日本や舞鶴の魅力も伝えたいと思っています。



訪問事業に参加する
学生語り部
池田 実奈さん
(日星高 3 年)

ウズベキスタンの文化や歴史に触れてみよう！

赤れんが博物館 小企画展 8 月 31 日(月)まで
「ウズベキスタンとれんが」



引揚記念館 企画展 10 月 25 日(日)まで
「ウズベキスタンと舞鶴～抑留から交流へ、深まる絆～」



今後も、姉妹都市提携記念事業として、さまざまな企画を予定しています。